



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 安永

コード番号 7271 URL <http://www.fine-yasunaga.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安永 暁俊

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 長谷川 恵一

TEL 0595-24-2122

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日

平成28年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	16,069	4.6	636	252.0	148	357.4	△46	—
28年3月期第2四半期	15,359	8.7	180	55.6	32	△75.1	△96	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △535百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △329百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△3.92	—
28年3月期第2四半期	△8.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	31,427	9,648	30.7	806.50
28年3月期	32,968	10,232	31.0	855.27

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 9,648百万円 28年3月期 10,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
29年3月期	—	4.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	10.0	1,020	173.0	500	—	100	—	8.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	12,938,639 株	28年3月期	12,938,639 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	975,277 株	28年3月期	975,277 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	11,963,362 株	28年3月期2Q	11,963,362 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、平成28年11月24日(木)にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇率の低下を主因に実質賃金は上昇基調にあるものの、消費者の節約志向が根強く、個人消費は弱含みで推移しました。又、円高の進行や新興国経済の減速等の影響により製造業の生産活動に依然として弱さが見られるなど、足踏み状態が続いています。

当社グループの主要販売先である自動車業界は、国内では、新車販売が伸び悩む中、円高による輸出環境の悪化等が企業収益の押し下げ要因となりました。海外では、米国で雇用環境の改善を伴って堅調な景気拡大が続いており、新興国の一部で持ち直しの動きが見えるものの、全体の伸びは依然として弱いものとなっています。

このような企業環境下、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高160億69百万円（前年同期比4.6%増加）、営業利益6億36百万円（前年同期比252.0%増加）、経常利益1億48百万円（前年同期比357.4%増加）、親会社株主に帰属する四半期純損失46百万円（前年同期は96百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

【エンジン部品事業】

前期において稼働開始したタイ子会社が本格稼働し、販売に加え利益面でも寄与しました。しかしながら、国内販売の減少により売上高は減少しました。一方、原価低減活動等が寄与し営業利益は増加しました。その結果、売上高100億53百万円（前年同期比2.7%減少）、営業利益4億28百万円（前年同期比259.5%増加）となりました。

【機械装置事業】

太陽電池向け検査測定装置の販売が伸びたことにより売上高は増加しましたが、工作機械及びワイヤソーの採算性低下等により、利益面では悪化しました。その結果、売上高38億67百万円（前年同期比28.2%増加）、営業損失1億4百万円（前年同期は85百万円の営業損失）となりました。

【環境機器事業】

国内向けエアポンプ及びディスポーザシステムの販売が増加し、さらに原価低減活動等により利益面でも良化しました。その結果、売上高19億87百万円（前年同期比8.4%増加）、営業利益2億94百万円（前年同期比76.3%増加）となりました。

【その他の事業】

当セグメントには、運輸事業及びサービス事業を含んでおります。

売上高1億60百万円（前年同期比8.2%減少）、営業利益26百万円（前年同期比83.7%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ15億41百万円（前連結会計年度末比4.7%）減少し、314億27百万円となりました。

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ7億20百万円（前連結会計年度末比4.3%）減少し、161億95百万円となりました。

この減少の主な要因は、受取手形及び売掛金の減少4億9百万円や前渡金等の減少によるその他の減少3億26百万円等によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ8億20百万円（前連結会計年度末比5.1%）減少し、152億32百万円となりました。

この減少の主な要因は、有形固定資産の減少13億64百万円や投資その他の資産の増加5億51百万円等によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ51百万円（前連結会計年度末比0.4%）減少し、132億92百万円となりました。

この減少の主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の減少4億70百万円、前受金等の減少によるその他の減少2億84百万円、未払金の減少1億35百万円や短期借入金の増加8億円等によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ9億5百万円（前連結会計年度末比9.6%）減少し、84億86百万円となりました。

この減少の主な要因は、長期借入金の減少7億53百万円や社債の減少1億10百万円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ5億83百万円（前連結会計年度末比5.7%）減少し、96億48百万円となりました。

この減少の主な要因は、為替換算調整勘定の減少5億1百万円や利益剰余金の減少94百万円等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ17百万円減少し、38億29百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、9億63百万円（前年同期は12億30百万円の増加）となりました。これは主に、減価償却費8億95百万円、為替差損3億73百万円、売上債権の減少額2億92百万円、仕入債務の増加額1億39百万円等の増加要因、及び未払金の減少等によるその他の減少額3億43百万円、前受金の減少額2億80百万円、たな卸資産の増加額2億49百万円等の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、4億76百万円（前年同期は8億33百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5億84百万円等の減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、3億10百万円（前年同期は2億59百万円の増加）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出12億68百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出1億23百万円等の減少要因、及び短期借入金の増加額8億円、セール・アンド・リースバックによる収入3億39百万円等の増加要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表した数値から変更しております。詳細につきましては、平成28年11月10日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,079	3,917
受取手形及び売掛金	5,352	4,942
電子記録債権	462	451
商品及び製品	973	1,252
仕掛品	3,454	3,383
原材料及び貯蔵品	1,569	1,497
繰延税金資産	72	118
未収入金	262	266
その他	696	369
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	16,915	16,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,407	11,031
減価償却累計額	△6,609	△6,675
建物及び構築物(純額)	4,798	4,355
機械装置及び運搬具	25,873	25,294
減価償却累計額	△21,041	△21,112
機械装置及び運搬具(純額)	4,831	4,181
工具、器具及び備品	5,861	5,792
減価償却累計額	△5,512	△5,474
工具、器具及び備品(純額)	349	318
リース資産	1,997	2,091
減価償却累計額	△169	△250
リース資産(純額)	1,828	1,840
土地	2,283	2,229
建設仮勘定	1,071	872
有形固定資産合計	15,163	13,798
無形固定資産	62	54
投資その他の資産		
投資有価証券	560	538
繰延税金資産	99	51
その他	175	796
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	827	1,379
固定資産合計	16,053	15,232
資産合計	32,968	31,427

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,067	3,948
電子記録債務	327	474
短期借入金	3,100	3,900
1年内返済予定の長期借入金	2,364	1,894
1年内償還予定の社債	220	220
未払金	1,818	1,683
未払法人税等	129	154
賞与引当金	411	396
工事損失引当金	3	2
設備関係支払手形	2	3
その他	899	615
流動負債合計	13,344	13,292
固定負債		
社債	770	660
長期借入金	6,380	5,626
リース債務	1,646	1,590
繰延税金負債	43	52
役員退職慰労引当金	38	41
環境対策引当金	-	7
退職給付に係る負債	438	432
資産除去債務	75	75
固定負債合計	9,392	8,486
負債合計	22,736	21,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	2,114	2,114
利益剰余金	6,198	6,104
自己株式	△330	△330
株主資本合計	10,125	10,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174	160
為替換算調整勘定	215	△286
退職給付に係る調整累計額	△283	△256
その他の包括利益累計額合計	106	△382
非支配株主持分	0	0
純資産合計	10,232	9,648
負債純資産合計	32,968	31,427

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	15,359	16,069
売上原価	13,478	13,845
売上総利益	1,880	2,223
販売費及び一般管理費	1,699	1,587
営業利益	180	636
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	7	6
受取賃貸料	11	10
違約金収入	-	72
その他	15	17
営業外収益合計	37	110
営業外費用		
支払利息	80	72
為替差損	65	462
減価償却費	31	26
その他	8	36
営業外費用合計	186	598
経常利益	32	148
特別利益		
固定資産売却益	5	1
特別利益合計	5	1
特別損失		
固定資産売却損	-	10
固定資産除却損	3	5
特別損失合計	3	16
税金等調整前四半期純利益	34	133
法人税、住民税及び事業税	113	166
法人税等調整額	17	14
法人税等合計	130	180
四半期純損失(△)	△96	△46
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△96	△46

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△96	△46
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34	△13
為替換算調整勘定	△145	△501
退職給付に係る調整額	△54	26
その他の包括利益合計	△233	△488
四半期包括利益	△329	△535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△329	△535
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	34	133
減価償却費	709	895
のれん償却額	6	-
有形固定資産売却損益(△は益)	△5	9
有形固定資産除却損	3	5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3	△1
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	20	26
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△7	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△26	△14
受取利息及び受取配当金	△11	△10
支払利息	80	72
為替差損益(△は益)	55	373
売上債権の増減額(△は増加)	79	292
たな卸資産の増減額(△は増加)	△841	△249
仕入債務の増減額(△は減少)	689	139
前受金の増減額(△は減少)	248	△280
未収消費税等の増減額(△は増加)	48	126
その他	310	△343
小計	1,397	1,176
利息及び配当金の受取額	17	11
利息の支払額	△80	△72
法人税等の還付額	1	0
法人税等の支払額	△105	△152
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,230	963
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△61	111
有形固定資産の取得による支出	△731	△584
有形固定資産の売却による収入	5	5
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
無形固定資産の取得による支出	△9	△8
無形固定資産の売却による収入	-	0
その他	△36	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△833	△476

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200	800
長期借入れによる収入	1,300	100
長期借入金の返済による支出	△1,148	△1,268
社債の償還による支出	△30	△110
セール・アンド・リースバックによる収入	-	339
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2	△123
配当金の支払額	△59	△47
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	259	△310
現金及び現金同等物に係る換算差額	21	△193
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	678	△17
現金及び現金同等物の期首残高	3,104	3,846
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,782	3,829

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,332	3,017	1,834	15,184	174	15,359	—	15,359
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	625	—	638	240	878	△878	—
計	10,345	3,643	1,834	15,822	415	16,238	△878	15,359
セグメント利益又は セグメント損失(△)	119	△85	167	201	14	215	△34	180

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△34百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,053	3,867	1,987	15,908	160	16,069	—	16,069
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	113	0	113	247	361	△361	—
計	10,053	3,981	1,987	16,022	408	16,430	△361	16,069
セグメント利益又は セグメント損失(△)	428	△104	294	618	26	645	△8	636

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△8百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。